

J - クレジット制度管理者 御中

## 実績確認概要書

平成30年6月28日

審査機関名 ロイドレジスター クオリティ アシュアランス リミテッド

### 1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	医療法人秀峰会が運営する介護老人保険施設「南面」と認知症デイケア施設「佳境」の既存照明設備からLED照明設備へ更新によるCO2削減事業
承認番号	KC1418
排出削減事業者名	医療法人 秀峰会
排出削減共同実施事業者名	一般社団法人 低炭素投資促進機構 (その他関連事業者名：なし)
事業実施場所	介護老人保険施設「南面」 (住所：埼玉県越谷市七左町4-161) 認知症デイケア施設「佳境」 (住所：埼玉県越谷市七左町4-154)
事業の概要	医療法人秀峰会が運営する介護老人保険施設「南面」と認知症デイケア施設「佳境」の既存照明設備からLED照明設備へ更新することにより、省エネルギー推進及び環境負荷低減を図る。
排出削減量の計画	<b>【限界電源係数の場合】</b> 2012年度： 9 tCO2 2013年度： 110 tCO2 2014年度： 107 tCO2 2015年度： 105 tCO2 2016年度： 103 tCO2 2017年度： 94 tCO2 (事業実施期間合計 528 tCO2) <b>【全電源係数の場合】</b> 2012年度： 7 tCO2 2013年度： 114 tCO2 2014年度： 111 tCO2

	2015年度：106 tCO2 2016年度：103 tCO2 2017年度：94 tCO2 (事業実施期間合計 535 tCO2)
クレジット認証期間	開始日 2013年2月28日 終了日 2018年2月27日
排出削減方法論	方法論番号 006 照明設備の更新

## 2. 本実績確認の対象期間

2015年4月1日 ～ 2018年2月27日 (第3回目実績報告)

## 3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	271 tCO2 (2015年4月1日 ～ 2018年2月27日)
-------	--------------------------------------

## 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って実施した結果生じていること	排出削減量が、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じている事を、以下の通り確認した。 1) 開始日の確認 (初回実績確認の場合) 初回実績確認ではないので該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 事業者の電力使用実績、事業者へのヒアリングにより導入設備は実績報告期間において継続的に稼働していたことを確認した。□
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って実施され、算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法の確認 排出削減量の計算のために収集している事業実施前後の電力使用量原単位、事業実施後の活動量が適切にモニタリングされていることを、収集データ及び事業者へのヒアリングにより確認した。

	<p>2) 活動量の正確性 事業者の就業規則、照明点灯ルール、消灯管理記録の確認と事業者へのヒアリングにより、計算に使用している活動量（点灯時間）に誤りがなく、正確であることを確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の確認 J-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver.3.1により、排出削減量の算定式及び使用されている排出係数等は方法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 事業実施後排出量、ベースライン排出量、排出削減量の算定結果を測定結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。また本事業において、リーケージ排出量は発生しないことを確認している。</p>
算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと	今回の実績確認対象期間は 2015年4月1日から 2018年2月27日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了日は 2018年2月27日となっているため、当該算定結果は適切であることを確認した。□

## 5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

今回の検証において承認排出削減事業計画からの重要な変更点に該当する事象はなかった。

## 6. 特記事項

本実績確認期間における省エネルギー量として、原油換算 134.0 kL、熱量換算 5,192.9 GJであることを確認した。

以上